



上：《W.P.A. サンデー》1939年、グアッシュ・紙、福島県立美術館
 © Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 2011
 下：《ウェスト・ヴァージニア州、スコッツ・ラン、オマー》1935年、写真
 Harvard Art Museums/Fogg Museum, Gift of Bernarda Bryson Shahn

ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト
 — 写真, 絵画, グラフィック・アート —

Ben Shahn: Cross Media Artist / Photographs, Paintings and Graphic Arts

2011年12月3日[土] ⇨ 2012年1月29日[日] 神奈川県立近代美術館 葉山

【本展情報サイト】 <http://www.benshahn2011-12exh.info>

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 tel: 046-875-2800 / fax: 046-875-2968
 The Museum of Modern Art, Hayama: 2208-1 Isshiki, Hayama, Kanagawa, 240-0111
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

主催：神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 / 協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

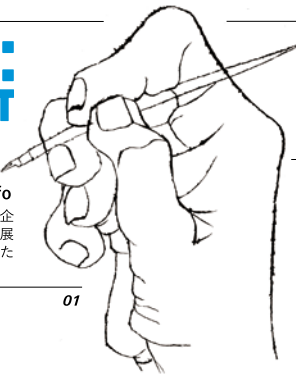
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで） / 休館日：月曜日（1月9日は開館）、12月29日（木）～2012年1月3日（火） / 観覧料：一般1,100円（団体1,000円）、20歳未満・学生950円（団体850円）、65歳以上550円、高校生100円 ※（ ）内は20名以上の団体料金です。 ※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。 ※ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日（今回は12月4日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金（65歳以上の方を除く）でご覧いただけます。 / 同時開催 ○ 神奈川県立近代美術館 鎌倉 tel: 0467-22-5000 / 「開館60周年 シャロット・ベリアンと日本」～2012年1月9日（月・祝） / 「生誕100年 藤牧義夫展」2012年1月21日（土）～3月25日（日） ○ 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 tel: 0467-22-7718 / 「開館60周年 日本画一ザ・ベスト・コレクション」～2012年3月25日（日）



BEN SHAHN:
CROSS MEDIA ARTIST
2011-2012

THE MUSEUM OF MODERN ART, HAYAMA
 NAGOYA CITY ART MUSEUM
 THE OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART
 FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART





01

ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト

— 写真、絵画、グラフィック・アート —

Ben Shahn: Cross Media Artist / Photographs, Paintings and Graphic Arts

01. 版画集『一行の詩のためには…: リルケ「マルテの手記」より』《一篇の詩の最初の言葉》1968年、リトグラフ・紙、神奈川県立近代美術館(麻生三郎コレクション) 02. 《解放》1945年、グアッシュ・ボード、The Museum of Modern Art, New York, James Thrall Soby Bequest 1249.1979 03. 《マイモニデス》1954年、テンペラ・紙、The Jewish Museum, New York, Bequest of Jacob and Bronka Weintraub, 2002-29 04. 《シカゴ・スタイル・ジャズ》LPレコードジャケット、アメリカコロムビアレコード、1955年発売、沼辺信一氏蔵 05. 《ラッキードラゴン》1960年、テンペラ・綿布、福島県立美術館 06. 《京都市、河原町通、映画館文映》1960年、写真、Harvard Art Museums/Fogg Museum, Gift of Bernarda Bryson Shahn [01~05] © Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 2011

伝えたいことがある。

一本の線、一つの文字、一枚の写真から挿絵、絵画、壁画まで、ベン・シャーン(1898-1969)の作品の底にはずっとこの思いが流れています。テーマは、社会的問題、日々の生活、家族や子供、身近な動物、神話、看板や文字と様々ですが、シャーンは常に人間の存在という根本から眼を離さず、作品の向こうにいる誰かに想いが届くことを大切に考えていました。

ベン・シャーンは、1898年、バルト海に近いコヴノ(現在のリトアニアのカウナス)のユダヤ人家庭に生まれます。1906年にアメリカに移住後、ニューヨークの石版画製作所で徒弟修業をしながら夜間高校や大学に通い、ヨーロッパ旅行を経て画家への道を歩きました。1930年代、不況下のニューヨークで社会の不正義に対して声を挙げた作品が目立され、世に出たシャーンですが、その眼差しは社会に対してだけでなく、日々を生きる一人ひとりの普通の生活にも向けられています。怒りや悲しみへの共感、時にユーモアも含んだその作品は、力強さとともに見る人の心にそっと手をさしのべる暖かさを持っています。

シャーンの仕事は幅広い。

アメリカだけでなく日本でも画家、イラストレーターやデザイナーに大きな影響を与えてきたシャーンですが、テンペラ、水彩、ペンや毛筆の素描、リトグラフなど、使う技法は様々でした。絵画、公共の壁画やポスター、版画集、装丁、挿絵、雑誌の表紙、LPレコードのジャケット、と発表の仕方も実に幅広く、そして実は、シャーンはすばらしい写真家でもありました。アメリカ中西部の労働者やニューヨークの街角のごく普通の人々、商店の看板や店先などを独特のアンングルと距離感で写しています。

撮った写真は、後に別の作品を作る時のイメージソースにもなりました。一つのモチーフが写真から素描、版画、絵画と重なりつながらうちに、シャーンの中のイメージは意味と姿を変えていきます。今回は、様々なメディアをクロスするアーティストとしてのベン・シャーンという側面に光をあてて、展示を試みます。

1960年、アジア旅行の最終目的地として、シャーンは来日しました。京都の俄屋旅館に長逗留し、京の街を歩き回ります。この時シャーンが撮った多くのスナップ写真画像を、ハーバード大学附属フォッグ美術館の協力を得て多数紹介します。

人間愛にみち、深く静かに心に届く作品を残したベン・シャーンの約20年ぶりの回顧展となる本展では、200点に及ぶ作品と300点近い写真画像で、その全貌をご覧ください。



02



03



04



05



06

【シンポジウム】

「ベン・シャーンと日本・アメリカ」

発表者: ミリアム・ステュワート(ハーバード美術館学芸員)、ロジャー・バルバース(演出家・劇作家)、荒木康子(福島県立美術館学芸員)ほか

12月3日(土) 13:30~
神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
12月4日(日) 13:30~
東京ミッドタウン・デザインハブ(インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター)

聴講無料(要申込、先着順受付)/プログラム、定員、申込方法等、詳細は本展情報サイトをご覧ください。

後援: 社団法人日本グラフィックデザイナー協会/協力: 公益財団法人日本デザイン振興会/助成: ポーラ美術振興財団

【関連プログラム】

神奈川県立近代美術館 葉山で開催するプログラムです。各プログラムの詳細・申込方法などは本展情報サイトをご覧ください。

http://www.benshahn2011-12exh.info

お問合せ tel: 046-875-2800(神奈川県立近代美術館 葉山)

【講演会1】

「写真家としてのベン・シャーン」

講師: 飯沢耕太郎(写真評論家)
12月10日(土) 14:30~16:00
講堂・聴講無料・定員50名(要申込、先着順受付)

【講演会2】

「歌う線描、奏でるドローイング〜ベン・シャーンのLPジャケットが伝えるメッセージ〜」
講師: 沼辺信一(編集者、本展出品者、LPレ

コード収集・研究)

2012年1月8日(日) 14:30~16:00

講堂・聴講無料・定員70名(要申込、先着順受付)

【コンサート】

「即興演奏〜音/ベン・シャーン/空間」

演奏者: かみむら泰一(サクソフ)、芳垣安洋(パーカッション)、他

12月24日(土) 13:30~/15:00~

2回公演 展示室・申込不要・無料(ただし展示会の観覧券が必要です)

【ワークショップ】

「気持ちを言葉に、言葉をカタチに」

講師: 和合亮一(詩人)

12月18日(日) 11:00~16:30

展示室・講堂・定員40名(要申込、先着順受付) 展示会の観覧券及び保険料等が必要です

【展覧会鑑賞会】

「冬の鎌倉・葉山一展覧会鑑賞の日」

12月10日(土) 10:00~16:00

午前に鎌倉館、午後に葉山館の展示会を学

芸員がご案内し、葉山館講堂で飯沢耕太郎氏の講演会を聴講します。移動と昼食は各自でお願いします。定員20名(要申込、先着順受付) 鎌倉館と葉山館の観覧券が必要です(鎌倉館の有料観覧券[65歳以上券、高校生券を除く]半券の提示により葉山館では優待料金の観覧券がご購入いただけます)

【担当学芸員によるトーク】

「ベン・シャーン展ができるまで」

2012年1月14日(土)・22日(日)

14:00~14:30 講堂・聴講無料・定員70名(申込不要、当日先着順受付)

◆優待のご案内

有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)半券のご提示で、本展会期中に限り、下記の施設に優待料金でご入場いただけます。

神奈川県立近代美術館 鎌倉(TEL: 0467-22-5000)

葉山しおさい公園(TEL: 046-876-1140)

山口蓬春記念館(TEL: 046-875-6094)



【交通案内】

電車とバス: JR横須賀線「逗子」駅前3番のりば、または京浜急行「新逗子」駅前南口2番のりばから、京浜急行バス「海岸回り(逗11、12系統)」で「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車(所要約18分)

車: 横浜横須賀道路逗子インターチェンジまたは横須賀インターチェンジからそれぞれ7~8km、有料駐車場有

※貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前面道路の通行許可申請が15日までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。tel: 046-875-2800

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
tel: 046-875-2800 / fax: 046-875-2968